

業界規格と各自動車メーカー規格について

By Dennis Florkowski / Lew Williams

Dennis Florkowski

業界規格に触れるならば、すべてのメーカーは少なくとも今日までは工場充填油及び市販のエンジンオイルに対して個別の要求を持っています。そして必ずしもお互いにすべて合意している訳ではありません。Chrysler 社はこの数年間 TEOST MHT と 33C を含む特別な要求性能を持っていました。Chrysler 社はまたすべての市販油は E85 が燃料として使われた時に適切に対応できる能力を有している事を望んでいたのもエマルジョン安定性の要求もしています。私はいつも自動車メーカーの規格を自分たちの車両に必要なものは何かという事をオイル業界に伝えるものとして見ており、そしてそのメッセージが正しく理解されることを期待しています。またこれらはオイル開発の過程で必要とされることについて関連業界と意見交換する手段であるとも考えています。

GF-5 の導入に伴ってこれらの交流が身近に起きている事を目にすることになるでしょう。そのような事が起きると自動車メーカーは自分たちの規格を GF-5 に沿って手直しする事もあるのではないかと思います。もし何も付け加える必要がなければ、業界の規格を使ってもよいと考えています。私はその事については全く問題はないと思います。

最近世界標準規格についていろいろな事が進んでいるという話を耳にすることがあります。米国で有効なエンジンオイルが世界の他の地域でも同じように使えることが望まれています。しかしながら、米国、ヨーロッパ、そして第三世界と呼ばれる国々で販売されている製品の間かなりの違いがある事が分かると、これは非常に難しいことであると思います。この考え方は良いと思いますが、その地域のエンジンの保護を保証する事が必要になります。ある地域や国で最大限の省燃費性能を得る事ができるかどうかは、消費者にとってはエンジンを保護して長持ちさせることと同じように重要であるとは思いません。私自身としては、これがグローバルな問題として出てくるところだと思えます。省燃費や排ガス装置の保護も良いことですが、一番目に必要な事はエンジンを守ることであり、次に排ガス装置の保護、その後省燃費を希望します。私にとってはこれが全世界的な規模で見た場合の要求であると思えます。

Lew Williams

業界規格とメーカー独自の規格の関係について Lubrizol の立場は “Right Oil, Right Application” (適油適所) という一貫した考え方をとっています。業界規格の制定のためには多くの関係者の間で合意を得るためにしばしば妥協しなければならない事があります。もし規格が個別化されると、例えば Chrysler 社の場合は E85 に対応する能力が強化され、過給機の保護、TEOST 特性、さらに彼らのエンジンが設計通りに機能してその目標を達成させるために重要な全ての特性を備えたオイルを手に入れる事が出来るようになると思われれます。もし GM、Ford、Honda、Toyota など他のメーカーが異なった品質目標を有するのであれば、それに適したオイルが開発され入手することが可能になるでしょう。このようにして個々のメーカーの要求に対してオイルが最適化されていくことになります。

このような個別化は消費者に混乱を引き起こすのではないかと心配する意見があります。しかし私はその心配はないと思います。事は単純です。もし Ford の車を運転している人は Ford 車用オイルを買い、Chrysler の車であれば Chrysler 車用オイルを購入すれば良いことです。そうすれば状況は非常に単純化できると私には思えます。ユーザーは自分がどのような車両を持っているかは当然知っている訳ですから「私は Ford 車用オイルが欲しい、GM 車用オ

ルが欲しい、或いは **Chrysler** 車用オイル」と言えば良いのですから、市場で混乱が起きることはないのではないかと思います。

規格の世界標準化については、現実問題として我々はグローバル経済の中で生活しています。GM 社も Ford 社も **Chrysler** 社も、また他のメーカーもヨーロッパでエンジンを製造しそれらを世界中で使っています。彼らは北米でもエンジンを製造しそれらのエンジンは世界中に送られて現地で組み立てられるか、車両に組み付けられて世界中の市場に出ていきます。中国やインドのような発展途上の市場でも、またヨーロッパや北米のような成熟した市場でも、エンジンが世界のどこに送られても、品質に一貫性があり明確に定義された規格に合致したエンジンオイルが入手出来てエンジンを保護してくれるのは良いことです。そしてそのような考えをもつ自動車メーカーが増えてくるのは望ましいことです。

規格の世界標準化と個々の自動車メーカー規格それぞれを支持する意見があります。“**Right Oil for the Right Application**” (適油適所) という立場からこの問題を考えてみます。このアプローチには問題の複雑化や、入手性の問題などの難点もありますが、もし自動車メーカーと消費者にとって本当に有益なものであれば添加剤会社とオイル販売会社によってこの問題は克服されると思います。明快な答えではありませんが、**Lubrizol** としては個々の自動車メーカーの規格が有益ではないかという見解を持っています。特に過給機や直噴ガソリンエンジンの導入、将来的にはより多くのハイブリッド技術の適用や **HCCI (Homogeneous Charge Compression Ignition)** の採用は我々に多くの技術革新という恩恵をもたらしています。これらの新しい技術は個々の自動車メーカーの規格に沿った特殊なオイルを必要とし、その規格に従って製造されたオイルは優位性を持つようになるかもしれません。